

平成28年12月6日

東京大学の学生及び教職員の皆さんへ

副学長（体験活動担当）

武 田 展 雄

### 体験活動プログラムの企画募集について（依頼）

本学では、学生が正規の教育課程以外に、国内外の実社会で多様な体験を得ることができるよう、平成24年度から学部前期課程及び後期課程に在学する学生（以下「学部学生」という。）を対象にさまざまな体験活動の機会を提供しており、引き続き、この取組を実施することとなりました。

つきましては、平成29年度の体験活動プログラムの実施にあたり、学生及び教職員の皆さんから体験活動プログラムの企画を下記のとおり募集いたしますので、奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

ただし、研究室体験活動の企画応募については、当該研究室等関係教職員に限り、詳細については別途ご案内申し上げます。

なお、応募の際は、体験活動プログラム企画提案書に必要事項をご記入のうえ、応募締切日（下記「5. 日程」参照）までに本部学生支援課の受取フォルダ（下記「7. 申請及び問合せ先」参照）にアップロードする形で提出してください。

### 記

#### 1. 体験活動プログラムの趣旨

体験活動プログラムは、学生が、自分とは異なる考え方や発想、異なる行動様式や価値観と触れあい、刺激を受けることのできる機会や場を提供するプログラムです。

については、可能な限り、所属する学部や在籍する学年に係わらず参加することができる体験活動であることが前提となります。

#### 2. 体験活動の内容についての留意事項

- (1) 体験活動プログラムの趣旨に沿った教育的意義のある活動内容であること。
- (2) 教育課程内の授業（講義、実習等）の一部ではないこと、かつ授業の関連として取り扱う活動ではないこと。
- (3) 既存団体（サークルや部等）の行う活動の資金援助、又はすでに特定の学生の参加が決定しているコンテスト等の旅費の援助を求めるものでないこと。
- (4) 海外での活動の場合、当該国について外務省の危険情報が発出されている等のように情勢に不安がある、あるいは感染症が蔓延するなど、危険度の高い国・地域ではないこと。

- (5) 活動の実施期間が次の期間内であること、ただし、授業期間中に活動を行う場合は、授業時間外又は休業日等に活動を行うもので、授業に支障のないものであること。

平成29年7月中旬～平成30年3月

- (6) 活動内容の参考例（別添「平成27年度体験活動プログラム活動報告」  
(<http://www.u-tokyo.ac.jp/content/400043121.pdf>) 等参照)



- a. ボランティアなどの社会貢献活動（東日本大震災の被災地への支援を除く。）  
バリアフリー支援（障害児・者への生活・学習支援や介護等）、環境保全、教育等の分野での支援
- b. 国際交流体験活動  
サマースクール、国際NPO活動への参加、海外での異文化体験等
- c. 就労体験活動  
自治体、企業、NPO等での就労体験等
- d. 農林水産業などに関わる地域体験活動  
出身家庭・地域と異なる場での生活体験等
- e. フィールドワーク体験活動  
演習林、牧場、植物園等の全国にある本学研究施設でのフィールドワーク体験
- f. 研究室体験活動  
学内研究科、研究所、全学センターでの研究体験

### 3. 体験活動プログラム企画提案書の記入について

体験活動プログラム企画提案書は、本学HP [http://www.u-tokyo.ac.jp/stu01/h19\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/stu01/h19_j.html)（下記QRコード参照）からダウンロードすることができます。

- (1) 「活動名称」欄には、活動の内容が連想できる名称を記入してください。
- (2) 活動期間について、週1回の活動を2ヶ月続けるなど記入欄に合わない活動形態の場合は、本欄には記載せず、「具体的な内容」欄に活動の形態及び期間等を記入してください。
- (3) 「参加資格等」欄には、特に必要な資格（理系や文系の学生に限る等）があれば記入してください。ただし、本プログラムの趣旨としては、学年や所属に限らない活動を推奨しています。
- (4) 「大学のサポート」欄には、応募する企画をプログラムとして実施する場合に、大学のサポートを要することがあれば記入してください。なお、プログラムとして実施する場合の費用に関することについては、「費用」欄の特記事項に記入してください。  
また、プログラムとして実施する場合、参加する学生は、災害傷害保険や賠償責任保険への加入が義務付けられます。（保険料については、危機管理の一環として大学で負担します。）
- (5) 「参加するための費用」欄の内訳の各欄には、応募した企画がプログラムとなった場合に、参加する学生が負担する額の内訳を記入してください。その際、各項目の金額は概算で構いませんが、使途（交通費、宿泊費以外に発生する費用の項目）については、可能な限り詳細な記入をお願いします。
- (6) 応募する企画をプログラムとして実施する際に、プログラムとして運営するための費用が必要な場合は、費用欄の右側の特記事項を記載する欄に、費用の項目と概算金額を記入してください。

(7) 「備考」欄には、他の欄の内容に含まれること以外に必要な内容があれば記入してください。

#### 4. 応募企画の選考について

応募いただいた企画は、「実現性」、「安全性」、「教育的意義」等を考慮のうえ、選考を行います。

#### 5. 日程について

- (1) 応募締切                   平成29年1月27日（金）17時
- (2) 選考結果通知           平成29年3月 6日（月）【予定】

#### 6. その他参考事項

体験活動プログラムに参加した学部学生は、活動報告書の提出が求められます。

#### 7. 申請及び問合せ先

ご応募の際は、HP内から「体験活動企画提案書」をダウンロードし、作成のうえ、「受取フォルダ」にアップロードする形で提出してください。

※企画提案書のファイル名には、「体験活動プログラム企画応募」と記載してください。また、アップロード後は本部学生支援課体験活動推進チームあてにメールにより、アップロード完了をお知らせください。完了メールを確認後、1週間以内に受領メールをお送りします。

東京大学本部 学生支援課 体験活動推進チーム

電 話   03 (5841) 2541、2542

E-mail   taikenkatsudou.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

HPアドレス   [http://www.u-tokyo.ac.jp/stu01/h19\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/stu01/h19_j.html)

受取フォルダ   [https://webfs.adm.u-tokyo.ac.jp/public/gXkEwAQIb48AVE0B1\\_ZRP-WzFMBnI5OniUDY3RF-NE7e](https://webfs.adm.u-tokyo.ac.jp/public/gXkEwAQIb48AVE0B1_ZRP-WzFMBnI5OniUDY3RF-NE7e)



HP



受取フォルダ